

## 平成14年度技術部活動報告

月	活 動 内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織改革実施試行1年目がスタート。</li> <li>・共通業務担当者を応募者と技術本部の推薦者より決定した。 (共通業務：高度総合工学創造実験の技術支援、創造工学センターの情報関連システムの立ち上げ・管理、情報支援室、水質モニター保守・点検業務。)</li> <li>・技術部業務運営のため総務、研修、広報、会計の各担当者を決定した。</li> <li>・専門委員会の構成員として技術部から、電子・情報技術系、装置開発技術系、環境・安全技術系、分析・物質技術系、総合技術室の委員を選出した。</li> <li>・教育・研究支援体制検討委員会のオブザーバーを技術部から2名推薦した。</li> <li>・東海北陸地区合同研修(情報コース)について、研修内容、開催日程等、本部担当者と技術部研修担当者が打ち合わせを行った。</li> <li>・第3回大技術職員研修のあり方に関するWGが開催され、研修内容について各部局の意見集約が行われた。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度技術部職員研修の実実施計画(案)が、研修あり方WGにおいて内諾が得られた。これに基づき実施方針の素案を策定した。</li> <li>・宮崎大学工学部から技術部組織改革の調査のため、教官2名、技官3名の訪問があり、工学部技術部の組織状況等について話し合いがもたれた。</li> <li>・第1回創造工学センター運営委員会が開催され、運営委員会技術担当オブザーバーとして、機械、情報、電気関係からそれぞれ1名人選された。</li> <li>・第1回教育・研究体制検討委員会が開催され、技術部から2名がオブザーバー出席した。 平成13年度活動報告及び14年度活動方針と教育・研究体制検討委員会WG構成員等について協議された。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋大学国際フォーラムが開催され、技術長5名が参加した。</li> <li>・工学研究科環境安全管理室担当者6名が教室安全委員長会議で承認された。</li> <li>・技術部学外研修(大隈鉄工)の受講願いがあり、2名の技官を承認した。</li> <li>・名古屋大学職員問題懇談会の席上で、工学部総務課長から平成18年度技術研究会が名大で開催されることが確認されたとの報告があった。</li> <li>・第1回全学技術支援委員会専門委員会が開催され、統括技術長が出席した。</li> <li>・独立行政法人化施行への対応、新しい技術部組織の再編等について協議された。</li> <li>・学外専門研修(中部職業能力開発促進センター)に技術職員1名が受講した。</li> <li>・密封線源取扱実務者研修会が大阪で開催され、技術職員1名が受講した。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回技術部講習会を開催し、平成13年度中部職業能力開発促進センターでの受講報告を行った。参加者は、講師、受講者を含めて計63名であった。</li> <li>・第1回技術部装置開発技術系専門委員会で、装置開発技術系の体制、依頼業務の割り振り等について協議した。</li> <li>・第1回環境・安全技術系専門委員会で、環境・安全技術系の運営の現状、問題点、方針等について協議した。</li> <li>・第1回電子・情報技術系専門委員会で、電子・情報技術系の活動状況、他部局の仕事の取扱等について協議した。</li> <li>・技術部便覧作成のため、技術系ごとに検討することとなった。</li> <li>・大学・大学共同利用機関における、技術組織の現状と法人化に向けての意見交換会が、岡崎国立共同研究機構で開催され、統括技術長が参加した。</li> <li>・鳥取大学工学部技官が、環境安全管理室並びに安全管理等の調査と技術部組織改革の現状調査のため、工学部を来訪し技術部で対応した。</li> <li>・第2回全学技術支援委員会専門委員会が開催され、全学技術支援委員会専門委員会WGの設置、WGでの検討事項について協議された。</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造工学センター施設のオープン利用、技術部が主催する公開講座の企画実施について技術部の対応を協議した。</li> <li>・第1回技術部運営委員会が開催され、平成14年度工学部技術部決算(案)、工学部・工学研究科技術部本部会議申合せ(案)等について、審議の結果、承認された。</li> </ul>

8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術部職員研修（マネージメント）と特別講演について、講演者、プログラム等具体的事項が決定した。</li> <li>・名古屋大学技術職員研修（全体研修）が開催され、12名が受講した。また、技術部からの聴講参加者は20名であった。</li> <li>・全学技術支援委員会専門委員会WGの中で、独立行政法人化に向けた技術組織等について検討する事となり、技術部の対応について協議した。</li> <li>・第1回全学技術支援委員会専門委員会WGが開催され、統括技術長が出席した。現状の問題点について資料に基づき説明があり、協議を行った。WGでの検討事項の分担者を決定した。</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術部職員研修（マネージメント）と特別講演会を2日間にわたり開催した。特別講演会は、技術部長挨拶、二題の講演を行った後、講演者を交えて懇親会を行った。参加者は、技術部66名、他学部の技術職員12名、教官4名の計82名であった。マネージメント研修は、三題の講演の後、討論会を行った。参加者は、技術部23名、農学部から4名の計27名であった。</li> <li>・全学技術支援委員会専門委員会が、技術職員を対象に技術支援の現状、要望等のアンケート調査を実施し、76名中、71名の回答があった。</li> <li>・技術部が担当した東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員研修（情報コース）が、9月4日、5日、6日に開催された。参加者は、39名であった。</li> <li>・独立行政法人化に向けた技術組織等について、全学技術支援委員会専門委員会WGへの技術部の対応を協議した。第1回、第2回の資料を全職員に配布し意見集約を図った。</li> <li>・第2回全学技術支援委員会専門委員会WGでは、各検討事項の進捗状況、全学中期目標・計画第一試案（チャート）の検討を行った。</li> <li>・第3回全学技術支援委員会専門委員会が開催され、全学中期目標・計画第一試案（チャート）の検討を行った。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回技術部講習会を開催し、「国際的な安全基準改定に伴う放射線源の規制免除レベル」について技術職員が報告した。参加者は16名であった。</li> <li>・学外専門研修（中部職業能力開発促進センター）に技術職員1名が受講した。</li> <li>・第1回技術部本部会議を統括技術長と各技術長で開催し、組織改革後の各技術系における問題点と技術支援業務の状況について協議した。</li> <li>・放射線同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修が、大阪大学で開催され技術職員2名が参加した。</li> <li>・第3回全学技術支援委員会専門委員会WGで、組織改革検討委員会の中間報告、各検討事項担当者から進捗状況の説明と協議が行われた。</li> <li>・大学評価・学位授与機構の訪問調査があり、工学研究科教育評価の一環として、実験・実習担当として技術部から4名が面接対象者として対応した。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度東京大学総合技術研究会に13件の発表申請があり、調整連絡会議で承認した。</li> <li>・独法化後に備え業務に関する資格取得について協議した。</li> <li>・第1回分析・物質技術系専門委員会では、業務運営の現状等について協議した。</li> <li>・第1回技術部組織改革実施検討WGが開催され、技術長2名が出席し、組織改革後の各系の業務時間等、技術部の実状と問題点について協議された。</li> <li>・第3回教育・研究支援体制検討委員会が開催され、技術部各専門委員会の報告、全学共用の工学系各センターでの共通業務等について協議された。</li> <li>・第4回全学技術支援委員会専門委員会WGが開催され、全学中期目標ドメイン・サブドメインチャートに研究支援体制の充実が盛り込まれたとの報告があった。また、各検討事項担当者から進捗状況の説明と協議が行われた。</li> <li>・第5回全学技術支援委員会専門委員会WGが開催され、センター化構想、技術部の組織ベースをライン制（職階制）にするかスタッフ制（職能制）にするかが協議された。</li> <li>・学外専門研修で中部職業能力開発促進センターへ技術職員1名が受講した。</li> <li>・第4回全学技術支援委員会専門委員会が開催され、評価方法（複眼的な評価）、職種・職名（職階制か職能制）等について協議された。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術部技術研修会を開催し、評議員挨拶の後、講演2題、技術研修報告7件があり、優秀3チームを表彰した。閉会后、教官、事務方を交え親睦会を行った。参加者は、技官64名、教官3名、事務官4名の計71名であった。</li> <li>・第2回構造・安全技術系専門委員会を開催し、系の運営及び業務等に関する中間報告、法人化に向けて研修結果の報告等があり、それぞれ協議した。</li> <li>・第3回技術部本部会議を開催し、全学技術組織図、技術開発業務の基準について検討した。</li> </ul>

12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学技術支援委員会専門委員会 WG における検討事項「組織と配置」について、組織体制（2部14課）の具体的な名称を検討した。</li> <li>・第6回全学技術支援委員会専門委員会 WG が開催され、他部局間との業務依託、必須業務、教育支援の在り方等、報告書（中間案）の全体的な検討を行った。</li> <li>・平成14年度技術専門官等候補者推薦委員会が開催され統括技術長が出席した。書面審査、面接審査が行われた。</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回本部会議を開催し、支援業務に必要な経費、教官へのアンケート調査の実施、全学技術支援委員会専門委員会報告書（中間取りまとめ）について協議した。</li> <li>・第5回教育・研究支援体制検討委員会が開催され、全学技術支援委員会専門委員会報告書（中間取りまとめ）に対する工学部の意見集約を行い、全学組織改革改編A案の方向で提案することとなった。</li> <li>・第7回全学技術支援委員会専門委員会 WG が開催された。全学技術支援委員会に提出された「名古屋大学の技術支援のあり方並びに技術組織について」の報告書に対する各部局意見の資料提出があり、これに基づき協議を行った。</li> <li>・第3回技術部講習会を開催し、「健康安全管理基準」、「労働安全衛生診断調査に同行して」と題して技術職員が講演を行った。参加者は40名であった。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修（電気・電子コース）について、本部人事課から研修実施協力者の依頼があり、人選を行った。</li> <li>・第6回教育・研究支援体制検討委員会が開催され、平成14年度各技術系の業務実施状況の説明があり、依頼分担金の使途について協議された。</li> <li>・第8回全学技術支援委員会専門委員会 WG が開催され、全学支援の在り方と運用の仕方、均等な支援業務が受けられる環境づくりについて協議された。</li> <li>・第9回全学技術支援委員会専門委員会 WG が開催され、全学業務調査資料、今後のスケジュールについて協議された。</li> <li>・第5回全学技術支援委員会専門委員会が開催され、全学技術支援委員会専門委員会報告書（骨子案）と技術支援実施委員会（仮称）の説明があり、骨子案について協議された。</li> <li>・第3回環境・安全技術系専門委員会を開催し、第3四半期までの業務の洗い出し分析を行い、今後の運営につき協議した。</li> <li>・第2回分析・物質系専門委員会を開催し、業務実施状況、技術部便覧の素案について協議した。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度創造工学センター公開講座 第1回ものづくり講座（機械工作）コースを実施した。</li> <li>・技術部「技報」の発行</li> </ul>

#### 備考

- ・技術部各系会議（電子・情報技術系、装置開発技術系、環境・安全技術系、分析・物質技術系）を毎月1回開催
- ・技術部調整連絡会議を毎週1回開催
- ・本部会議を毎月1回開催
- ・業務調整会議を各系で開催
- ・技術部専門委員会を各系で開催